



7月 調布幼稚園だより

令和5年6月30日



『直接体験の大切さ』

園長 山形美津子

3年振りに調布幼稚園でのプール遊びが始まり、子どもたちの歓声が園庭やグラウンドに響いています。これが本来の幼稚園の夏の保育の風物詩だと感じる毎日です。幼稚園では泳げるようになることが目的ではなく、水に親しみ触れ合うことが目的です。プール活動の参観日もございますのでよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、幼稚園での生活や活動が少しずつ変わってきています。今までは密にならないようにクラス単位で活動をしていましたが、今では時には帰りの会を学年合同で行い、共通の話題を話したり、3クラス一緒に歌を歌ったり、体操をしたり集まったりできるようになりました。子どもたちにとってもこの上ない喜びです。

年少組は、4月から積み重ねてきた生活習慣が徐々に身に付いてきており、朝の身支度などを自分からやろうとする姿が見られるようになりました。また、クラスで集まり、先生の話の聞いたり、絵本を見たりする時も先生に注目してしっかり聞いたり見たりできるようになってきました。初めて幼稚園で集団生活を経験して、周りにたくさんの同年齢の子どもがいることで刺激を受け、友達を意識して遊べるようになってきました。友達の名前を覚えてきていることも嬉しいことです。

年中組は、進級してからクラスが変わったことで新しい友達がたくさんできました。年中組になったことで活動の幅も広がり、園外に散歩に出たり、地域の公園に出かけたり、今までにない経験ができています。また、好きな遊びの時間には、自分で材料を選んでごっこ遊びで使う食べ物を作ったり、廃材を組み合わせて車や電車などを作ったりして創意工夫が見られます。園庭のプランターでは、いろいろな野菜も育てて収穫し、幼稚園で友達と一緒に食べる喜びも味わいました。

年長組は、この3か月、友達と協力していろいろなことに取り組みました。友達と協力して作ったこいのぼりに始まり、大型壁画「11匹のネコふくろのなか」等、素晴らしいものができました。また、コロコロゲームや動く車作りなどを通して考えたり試したり工夫したりしながら物を作ることに取り組んできました。手先の技能などが育ってきているからこそできる経験です。うまくいかないときは修理をしたり作り直したりして、何度も試して挑戦するという経験しました。また、畑の野菜の収穫ではソラマメの収穫やジャガイモ掘りを体験し、カレー作りへとつながる貴重な体験もしました。何をするにも心も体も逞しく強くなったことを感じています。

さて、早いものであと3週間もすると夏休みになります。夏休み中もコロナ禍の3年間とは違った生活ができるのではないのでしょうか。夏休みには、日頃できない「体験活動」をたくさんして欲しいと考えています。「体験活動」をたくさんした子どもは、自己肯定感が高くなるという文部科学省の調査研究報告が出されています。

文部科学省は、令和2年度 青少年の体験活動に関する調査研究の概要を報告書にまとめています。

それによると、幼児期や小学生の頃に体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）や読書、お手伝い等を多くしていた子どもは、その後、高校生時に自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足している、など）や外向性（自分のことを活発だと思ふ）、精神的な回復力（新しいことに興味をもつ、自分の感情を調整する、将来に対して前向きなど）といった項目の得点が高くなる傾向が見られたと報告しています。

自尊感情の高い子どもは、

○ 自分の思いや考えを素直に話すことができる。 ○ 幼稚園や学校に行くことが楽しいと感じている。

○ 自分に自信があり、様々な物事に取り組む意欲が高い。 ○ 友達や周囲の大人との関係が良い。

などの傾向が高いと言います。夏休みには、自然体験や読書、お手伝いをたくさん経験させたいですね。

この1学期の間、保護者の皆様、地域の皆様にはたくさんのご支援とご協力を頂きました。深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

防災の日

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、関東地方を中心にマグニチュード7.9の大地震が襲いました。死傷者は23万人にも上るといふ関東大震災がこの日です。1960年(昭和35年)に「防災の日」として定められました。

わが国は世界有数の地震国です。そのほかにも、毎年のように被害をもたらす台風、豪雨、豪雪、冷害、干害、津波など、被害を挙げればきりがありません。

日ごろから災害についての認識を深め、防災に対処する心の準備をしておくことが大切です。

「年中行事 なるほどBOOK」参照

7月の目標

全学年

- 梅雨から夏への季節の変化を感じ、様々な栽培物の生長に興味をもったり、収穫したりすることを楽しむ。
- 熱中症予防に関心を持ち、日陰で遊んだり、水分を十分に摂ろうとしたりする。
- 七夕を通して飾りを丁寧に製作し、みんなで笹に飾る楽しさを味わう。

年少組

- 自分の好きな遊びを見付けたり、周りにいる友達に親しみをもち、かかわりを楽しむ。
- 水のペンキ屋さんや洗濯ごっこなど、水の気持ちよさを感じ、水遊びや夏ならではのいろいろな水遊びを楽しむ。
- 暑い日の過ごし方を知り、汗をかいたら自分でハンカチで拭いたり、水を飲んだりする。

年中組

- やりたい遊びをする中で、思いついたイメージを教師と一緒に実現したり、自分で作った物や場で友達とかかわって遊んだりする。
- 身近な廃材や材料を使って舟づくりを楽しみ、浮かべる中で素材の性質に気付き、試行錯誤する楽しさを味わう。
- 色水の混色や色の変化、シャボン玉が風に吹かれる様子、泡を立てる遊びの面白さなど、夏の遊びを楽しんだり、砂場で水を使って教師と一緒にダイナミックに遊んだりして解放感を味わう。

年長組

- 友達と遊びを進めていく中でイメージを共有し、友達とのつながりを感じながら遊びに必要なものを作り、作ったものを使って、十分に遊び込む。
- 色水遊びでは自分で素材から色を作り、混色や色のグラデーションを楽しみ、シャボン玉遊びでは風の入れ方など試したり、工夫したり、教師や友達のやり方も取り入れ、夏の遊びを存分に楽しむ。
- ゴムの動力で動く舟など、身近にある素材や材料の性質や使い方が分かり、試行錯誤しながら遊びを楽しむ。



季節の歌

顧問 外崎明美

たなばたさま



作詞 権藤はなよ
補作詞 林 柳波
作曲 下総 皖一

ささのはさらさら のきばにゆれる

おほしさまきらきら きんぎんすなご

ごしきのたんざく わたしがかいた

おほしさまきらきら そらからみてる



働き者だった織姫と彦星。仲良くなりすぎて働くことを忘れ、天の神様の怒りをかってしまい、一年に一度しか会えなくなっていました。

子どもたちは、織姫様と彦星様が七夕の日に会えますように、雨が降って天の川が洪水になりませんようにと、各学年で素敵な七夕飾りを作ったり、短冊にお願い事も書いたりしているところです。

七夕の織姫は織女星(こと座のベガ)、彦星は牽牛星(わし座のアルタイル)です。先日、年長組はプラネタリウムに遠足に行ってきました。夏の夜空に興味をもつ機会になったことと思います。

また、年長組全員に「おおくまぼし」のお話を聞き聞かせしました。病気のお母さんのことを思い「ひしゃく」を持って水を求め、やっとお水を飲むという時に、「お水を恵んで下さい」とやってきた旅人に差し出します。その時、7つのダイヤモンドが「ひしゃく」から飛び出て夜空に輝く「おおくまぼし」別名「北斗星」になります。お水も後から後から「ひしゃく」から溢れてくるというお話です。夏休みにはご家族で、夏の夜空を見上げてお星さま探しもよいですね。

ヤッホッホ 夏休み

作詞 伊藤アキラ
作曲 小林亜星
編曲 早川史郎

こんにちは なつやすみ

さようなら おともだち



ちょっとあえなくなるけれど

くがつになったら またあそぼう

ヤッホッホ なつやすみ

ヤッホッホ なつやすみ

げつかすいもくきんどにち

まいにちたのしい なつやすみ



早いもので一学期も残り少なくなってきました。4月の入園、転入、進級当初不安げだった子どもたちも、クラスや学年に馴染み、楽しく遊んでいる様子が見られ、嬉しく思います。

暑くなってきた6月から7月にかけて、シャボン玉や色水、砂場などで水遊びも楽しみました。

畑や年少組の入り口辺りや、中庭、園庭横のオープンスペースの庭で栽培していた野菜も次々と収穫の時期を迎え、子どもたちは収穫の楽しさやコロナ禍ではできなかったみんなと一緒に味わうという体験もできました。年長さんは2年間調理体験ができませんでしたが、初めての調理体験にワクワク！美味しかったカレーに笑顔いっぱい、心もお腹も大満足でした。土づくりから始めて、収穫、調理、会食、片付けまで、完結できました。

もうすぐ楽しみにしている夏休み！楽しみな夏休みですが、毎年悲しい事故のニュースもあります。ご家族でお出かけの際には、どうぞお子さんと約束事を決め、大勢の人のいるところでの行動の仕方、自然の中での危険性などを教えて差し上げて下さい。怪我などありませんように願っています。

元気に9月会えることを楽しみにしています。